

史料展 新公開

入館無料

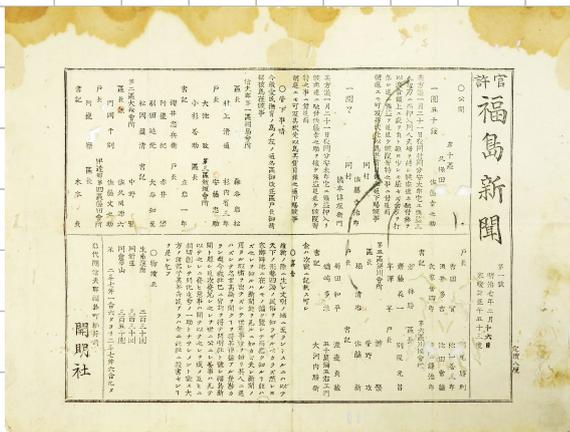
令和6年度福島県歴史資料館収蔵資料展

2024. **12.14** **土**
▶ 2025. **3.23** **日**

前期：12/14(土)～2/2(日)
後期：2/4(火)～3/23(日)
※前期と後期で展示内容が一部変わります



▲伊豆国海鳴風土記 五・六
(安井健夫家文書(その1)130)



▲官許福島新聞 第一號(井筒平氏寄贈文書1)

福島県歴史資料館展示室 (とうほう・みんなの文化センター内)

- 〔開館時間〕
午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 〔休館日〕
毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌火曜日)
年末年始(12/28(土)～1/4(土))
- 〔解説会〕
12/21(土)・1/19(日)・2/15(土)・3/16(日)
午後1時30分より50分程度担当者が解説します
- 〔主催〕
公益財団法人
福島県文化振興財団



福島県歴史資料館

福島県歴史資料館

検索



X (旧 Twitter)



〒960-8116

福島県福島市春日町5-54

E-mail: history@fcp.or.jp

TEL: 024-534-9193

FAX: 024-534-9195

祝辞

春深クシテ緑濃キ若葉ニシテ
風温暖ニ萬物生々トシテ活氣ヲ
呈シ眞ニ生ケトシ生ケルモノ皆樂
シマザルヤ好李即チ本日ヲトシ
茲ニ觀月臺溜池改修記念碑
除幕式ヲ舉行セラルニ際シ不
此席ニ列スルヲ得タルハ誠ニ欣
幸トスル処ナリ
抑ニ觀月臺ハ高臺ニ位置シ北
達ノ野ヲ一眸ニテ一望望シ藤
田町ヲ瞰下ニ控ヘ町東ヲニ展
開セル耕地七拾余町歩ノ田地ハ
皆此ノ溜池貯水ノ灌漑ニヨリテ
年々其收穫ヲ見ル 且ツ藤田
町トシテ一朝有事ノ際 此溜池

▲祝辞(部分、国見町藤田區有文書(その3)113)

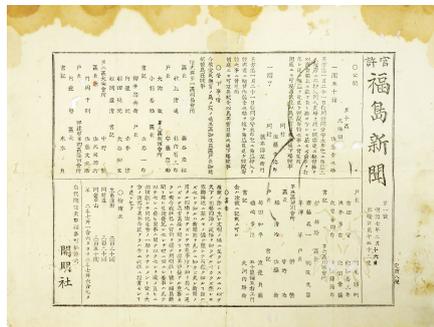
新公開 史料展

『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第55集に収録され、新たに公開となった新聞資料などの「井筒平氏寄贈文書」、明治期の雑誌資料『金子一郎氏寄贈文書』、「福島大学明治期布達集（その1）」、「二本松藩士ゆかりの「安井健夫家文書（その1）」、伊達郡小坂村（現国見町）ゆかりの「高原庄一家文書（その1）」、伊達郡藤田村ゆかりの「国見町藤田区有文書（その3）」を展示し、各文書群の魅力と特徴的史料を紹介しつます。



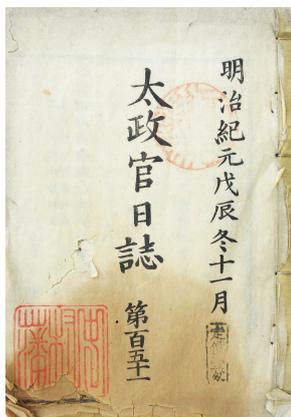
伊豆国海嶋風土記 五・六
(安井健夫家文書 (その1) 130)

18世紀後半に作成された地誌で、八丈島や三宅島など伊豆諸島に関する風土・歴史・民俗を記しています。右はアホウドリで、伊豆諸島では「シラブ」といい、食用にされていました。



官許福島新聞 第一號
(井筒平氏寄贈文書 1)

福島県における最初の民間新聞紙「官許福島新聞」の創刊号です。福島町（現福島市）の福島稲荷神社の社司である丹治経雄によって、明治7年（1874）に発行されました。

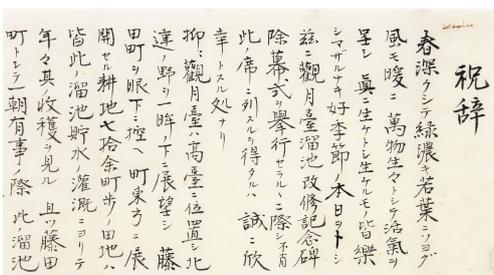


太政官日誌（福島大学明治期布達集（その1）1）

明治政府が明治元年（1868）に創刊した機関紙で、今日の官報の前身にあたります。本資料は中村藩が旧蔵していたもので、戊辰戦争の戦況や政府からの命令などが掲載されています。

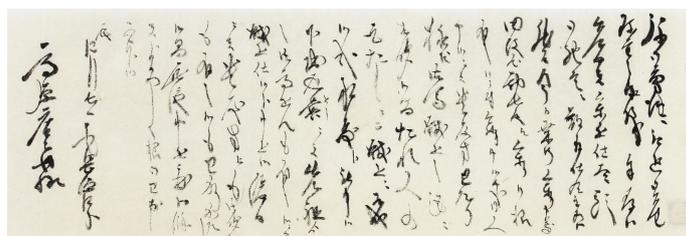
まるまるちんぶん
團々珍聞 第壹千百九拾八號（金子一郎氏寄贈文書 1）

伊達郡大木戸村（現国見町）で購読されていた『團々珍聞』第1198号（明治32年（1899）刊）です。同誌は明治10年に創刊され、社会風刺や政治批判を得意としました。



祝辞
(部分、国見町藤田区有文書（その3）113)

昭和12年（1937）5月18日、藤田町（現国見町）観月台溜池の改修記念碑除幕式での佐々木八千代町長の祝辞です。改修工事が産業振興と風致向上の両方面で功を収めたと評しています。



〔亀岡源四郎書状〕
(高原庄一家文書（その1）17)

慶応4年（1868）4月7日、伊達崎村（現伊達市）亀岡源四郎が小坂村（現国見町）高原庄兵衛に宛てた書状で、戊辰戦争時、庄兵衛らが仙台藩一門の伊達邦成へ馬を献上したことに触れています。